

山梨県、中央市、国立大学法人山梨大学及び株式会社 Taomics の 4 者は、下記の通り各者の役割に基づく取り組みを進めていきます。

【山梨県】

広域自治体（兼幹事自治体）として、中央市における取組の県全域及び全国への展開を支援します。また、「健康寿命の延伸に向けた健やか山梨 21 の推進」や「医療機器関連産業の集積・振興」など県の重要施策の実現に向け、本研究を山梨県成長の新たな柱とするため全面的に支援します。

【中央市】

幹事自治体として、令和 8 年 6 月 6 日に開始したコホート研究を皮切りに様々な研究・取組の実証や先行的な社会実装の場を提供するとともに、本プロジェクトへの住民の理解促進を図ります。さらに、研究の進展に伴い、ヘルスケア領域を特徴とした研究開発や産業の集積が市内に形成されるよう、関係機関と連携して支援します。

【国立大学法人山梨大学】

本拠点の主幹機関・研究実施機関として、大学一丸となって本拠点の活動を全面的に支援し、本プロジェクトの成功に組織として責任を持って取り組みます。また、研究品質及び倫理的妥当性の担保、国際共同研究の推進並びに次世代人材の育成を担います。

【株式会社 Taomics】

山梨大学発ベンチャーとして、協定書第 2 条において主として担当する事項である民間資金循環、新産業創出及び社会実装を推進します。また、住民向けアプリ「Taohealth」を提供し、COI-NEXT 終了後の自立的かつ持続的な拠点運営を支援します。

今回の連携協定に基づく山梨県での先駆的な取組を通じて、ヘルスケア・セントラルシティ構想の推進を図り、健康・医療データの利活用による研究成果の社会実装や新産業・新サービスの創出に貢献していきます。